

めぶきアセアンレポート

MEBUKI ASEAN REPORT

2020年10月号

- ◇ 各国の入国規制について～【シンガポール】【ベトナム】【タイ】【フィリピン】・・・P. 1
- ◇ 【アセアン駐在員コラム】・・・P. 5
- ◇ 【アセアン各国株式市場・為替情報】2020年9月の動き・・・P. 7
- ◇ 【アセアン各国ニューズピックアップ】・・・P. 8
- ◇ 【アセアン・インド休日情報】2020年10月～2020年12月・・・P. 9
- ◇ 【めぶきアジアネットワークのご紹介】・・・P. 10

常陽銀行シンガポール駐在員事務所

63 Market Street #11-03
Bank of Singapore Centre,
Singapore 048942
TEL:65-6225-6543

常陽銀行ハノイ駐在員事務所

5th Floor, Sun Red River,
23 Phan Chu Trinh Street,
Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam
TEL:84-24-3218-1668

足利銀行バンコク駐在員事務所

689, Bhiraj Tower at EmQuartier,
27th Floor, Room No. 2714,
Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana,
Bangkok 10110, Thailand
TEL:66-2-261-2852

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願い致します。



足利銀行



～各国の入国規制について～

新型コロナウイルスの感染拡大防止策によってアセアン各国では経済再建に向けた動きがみられています。今回は駐在員が各国の入国規制状況についてレポートします。

☆ーシンガポールの状況ー☆

1. 新型コロナウイルスの感染状況

8月中旬には、最大クラスターである外国人出稼ぎ労働者の寄宿舎での検査も一服し、全体の感染者数は落ち着きつつあります。しかし、各国との入国規制が緩和される中、輸入症例が日々10名前後出るなど第2波に対する警戒感も高まっています。

(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月
新規感染者数(1日あたり)	508	604	301	268	149	32
累積感染者数	16,169	34,884	43,907	52,205	56,812	55,765

2. 入国規制について

日本から観光目的での入国は依然禁止されていますが、9月18日より、ビジネス目的での短期滞在者の往来を再開する「ビジネストラック」が導入されました。行動計画書の提出など一定条件を満たすことで、14日間の隔離なしに範囲を限定したビジネス活動が可能となります。現地日系企業含め規制緩和を歓迎する声は大きく、今後、事業活動の活発化が期待されます。また9月30日より、駐在員等長期滞在者を対象とした「レジデンストラック」も導入されました。事前に期待された入国後14日間の自宅待機は認められず、政府施設待機が継続します。精神面やコスト面から、自宅待機への移行が期待されています。

【入国対象者と主な手続き（10月2日現在）】

	ビジネストラック	レジデンストラック
対象者	ビジネス短期滞在者（30日以内）	駐在員・長期滞在者等ビザ保有者
入国前手続き	<ul style="list-style-type: none"> Safe Travel Pass の取得と14日間の行動計画の登録 健康状態の報告 PCR検査証明の取得 	<ul style="list-style-type: none"> 新赴任者の場合、ビザ事前承認レター（IPA）取得 入国許可申請 ・健康状態報告 PCR検査証明の取得
入国後手続き	<ul style="list-style-type: none"> PCR検査（費用自己負担） 入国後14日間は行動計画に沿った行動（15日目から自由行動可） 感染者追跡アプリの導入 	<ul style="list-style-type: none"> PCR検査（費用自己負担） 14日間の政府施設での待機 ビザ取得 感染者追跡アプリの導入

3. 現地の生活情報

9月以降、シンガポール政府は入国規制を含め多くの規制緩和を発表しました。この動きは、緩和の最終段階となる「フェーズ3」への移行準備といわれています。通勤電車や街中では人々の往来が活発になり、徐々にですが以前の活気が戻ってきました。政府の厳格な規制にストレスを感じますが、「フェーズ3」という長いトンネルの出口が見えてきたことで、多くの市民が明るさを取り戻し始めているように感じます。

【常陽銀行シンガポール駐在員事務所 駐在員 関 貴弘】

☆-ベトナムの状況-☆

1. 新型コロナウイルスの感染状況

7月26日、ベトナム国内では約3ヶ月ぶりの市中感染者が中部ダナンで確認されました。その後、感染者が急増し国内でも緊張が走りましたが、8月3日以降、市中感染者は確認されておらず、再び落ち着きを取り戻しています。

(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月
新規感染者数(1日あたり)	2.1	1.9	0.9	6.2	16.1	1.5
累積感染者数	269	330	357	548	1,047	1,094

2. 入国規制について

ベトナムでは、9月30日現在も原則外国人のベトナムへの入国は禁止されています。しかし、投資家、専門家、高技能労働者、銀行の駐在員等に該当する外国人の入国については例外的に入国が認められています（以下、特例入国措置）。

【入国に関する主な手続き】

入国前の主な手続き	①隔離施設（ホテル）の予約 ②人民委員会、保健局、入国管理局から入国許可の承認を得る ③在日本ベトナム大使館にてビザを取得、フライトの予約 ④入国日の3～7日前に発行されたPCR検査陰性証明書の取得
入国後の主な対応	①空港到着後、医療申告の実施 ②隔離施設にて14日間の隔離措置

現在の特例入国措置で入国する場合、指定された施設での2週間の隔離措置が義務付けられていることから、実質的に短期出張者の入国は困難となっています。そのような中で、ベトナム保健省は9月1日、ベトナムでの滞在期間が14日間未満の場合、14日間の隔離措置が免除されると規定した新たな指針を公布しました。しかし、外出時には医療監視担当者の同行が必要となるなどの諸条件があり、「隔離措置免除」ではなく「隔離措置の一部緩和」の意味合いが強くなっています。また今回のオフィシャルレターは実務上不明な点が多いため、今後発令される入国の手続きに関するガイダンスの公表を待つ必要があります。

3. 現地の生活情報

ベトナムでは新型コロナの「第二波」が発生し、その際、ハノイでも市民に対し不要不急の外出自粛要請がありました。しかし、「第一波」の際とは違い、強制力はなくあくまで「要請」であったことから、市民もほぼ通常通りの生活を送っています。感染者数が減少した現在では、一部の業種を除きほぼすべての店舗が営業を行っており、ほぼ平常時と変わらぬ生活を送ることが出来ています。

【常陽銀行ハノイ駐在員事務所 駐在員 安彦 秀紀】

★タイの状況★

1. 新型コロナウイルスの感染状況

タイでは現在、国内へのウイルス侵入が制御・遮断できており、市中感染がほぼ収束している状況にあります。足元の新規感染者数の増加は主に海外からの帰国者であり、感染者についても十分な治療および隔離措置が講じられています。

(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月
新規感染者数(1日あたり)	43	4	3	4	3	5
累積感染者数	2,954	3,087	3,171	3,310	3,412	3,564

2. 入国規制について

タイでは7月から外国人の入国条件が段階的に緩和されており、日本人についてもビザや入国許可証の取得を条件に入国が許可されています。

タイ入国者は、入国後14日間、タイ政府が指定するホテルで隔離措置を受ける必要があります。隔離措置はタイ政府が定める運営規則のもと厳格に管理されており、期間中の外出禁止、体調管理の報告などが義務付けられています。

現在の入国制限については入国目的が就労目的のみとなっていますが、タイ政府は緩和措置として特別観光ビザの発給を既に閣議決定しており、観光客の受入れに向けた準備を進めている状況にあります。タイ現地の報道によれば、毎月1,200人程度の観光客を受入れることが予想されています。

【入国に関する主な手続き】

入国前の主な手続き	①入国許可証を在東京タイ大使館で取得 ②渡航前72時間以内に発行された英文のPCR検査証明書の取得 ③条件(保険金額、期間)を満たす医療保険の加入 ④政府指定ホテルの予約
入国後の主な対応	①入国後14日間以上、政府指定ホテルにて隔離生活 ②体温測定、自覚症状の申告などの経過観察 ③空港到着時と隔離滞在期間中のPCR検査の実施

3. 現地の生活情報

2020年3月末に発令された非常事態宣言が現在も継続されていますが、入国規制を除けば経済・社会活動の制限の多くが解除されており、タイ国内での生活は従前と変わりなく過ごせるようになりました。ただ、コロナ禍が落ち着きを見せる一方で、若年層を中心とした反政府デモが頻発しており、政情不安が再燃している状況にあります。

【足利銀行バンコク駐在員事務所 駐在員 塚本 修平】

★フィリピンの状況★

1. 新型コロナウイルスの感染状況

感染者数は依然増加傾向にあり、8月以降の累計感染者数はASEAN諸国で最多を記録しました。現在は、商業施設やスーパーマーケット利用時にマスク及びフェースシールドの着用が義務化されています。

(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月
新規感染者数(1日あたり)	238	259	677	1,548	3,875	3,538
累積感染者数	9,223	17,224	37,514	85,486	205,581	311,694

2. 入国規制について

ビジネス出張を目的とした渡航の他、観光・就労などのビザ所有者についても、国外からの入国ができない状況が続いています。又、新規ビザの発給停止も依然継続されています。各国大使館及び企業団体を中心に、就労ビザ所有者の入国再開を政府に促していますが、再開の目途は立っておりません。9月末現在の入国対象者並びに主な手続きについては以下の通りです

【入国対象者と主な手続き】

主な入国対象者(※1)	入国前の主な手続き	入国後の主な措置
長期滞在ビザ所有者 (フィリピン国民の配偶者及び子で外国籍の者)	・PCR検査に伴う事前電子登録	・到着後にPCR検査を受診 ・政府認定のホテルに2泊以上滞在
経済特区企業(PEZA 企業)向けビザ所有者	・PCR検査に伴う事前電子登録 ・事前に経済区庁(PEZA)宛てに申請書を提出。(※2)	・到着後にPCR検査を受診 ・政府認定のホテルに2泊以上滞在
貿易産業省(DTI)より推薦を受けた外国人	・PCR検査に伴う事前電子登録 ・事前に貿易産業省(DTI)宛てに申請書を提出。(※2)	・到着後にPCR検査を受診 ・政府認定のホテルに2泊以上滞在

(※1)永住権(移民)ビザ所有者、外国政府職員、外国籍船員(交代を目的)の入国は可能。

(※2)申請書類・方法については、PEZA、DTI ホームページに掲載されています。

3. 現地の生活情報

政府は、各企業の社内会議の開催にも条件を付与しており、15分以上の会議となる場合はビデオ会議を義務化、集会やセミナーについても原則自粛を促しており、開催する場合は、地域の外出・移動規制に基づき、座席数の50%を条件としています。又、勤務中に感染の疑いのある従業員が出た場合に備え、従業員200人ごとに1部屋の隔離部屋を設置することもガイドラインで定めるなど、感染拡大防止策を徹底させています。

以上

【BDO ユニバンク マニラ駐在 鶴見 圭史】

アセアン駐在員コラム

アセアン駐在員コラムでは、東南アジア各国で生活している駐在員や現地スタッフからの情報を発信しています。



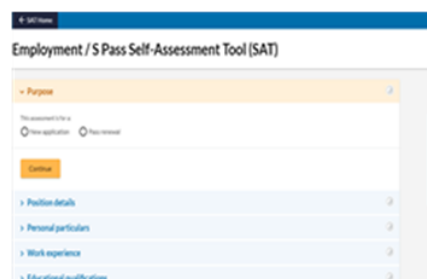
【シンガポール】～ビザ取得厳格化について～

政府はコロナ禍の国内経済低迷による失業率増加を受け、国民の雇用拡大のため9月1日から専門職向け就労ビザ（以下、EP：エンプロイメントパス）取得に必要な最低月給額を引き上げました。最低月給額は今年5月に3,600Sドル（約28万円）から3,900Sドル（約30.5万円）に引き上げられましたが、今回さらに600Sドル引き上げられ4,500Sドル（約35万円）に改定されました。

また、月給額を算定する卒業大学別カテゴリーも改定され、東京大学・東京工業大学・京都大学以外の出身者を就労させる場合は、5,500Sドル（約43万円）以上の月給が必要となります。EP取得に際して、年齢が高くなるにつれ最低月給額も上昇することから、人件費上昇による人事戦略を見直す企業も出てきています。ビザ取得可能性については個人で確認できるよう、政府は「自己診断ツール（SAT）」を提供しています。

（常陽銀行シンガポール駐在員事務所 現地スタッフ 関 順）

【ビザ取得自己診断ツール】



（引用：MOM）



【ベトナム】～コロナ追跡アプリ「ブルーゾーン（Bluezone）」～

ベトナムでは、コロナ追跡アプリ「ブルーゾーン（Bluezone）」の利用を促進しています。ブルーゾーンは、新型コロナ感染者の早期追跡に役立つとしてベトナムで開発されたアプリで、99日ぶりの市中感染者が発生した7月25日以降利用者が急増し、既に1,000万件以上がインストールされました。特徴は、ブルーゾーンユーザー間の統計情報を自動的に収集して記録する機能で、アプリの接触履歴に、いつ、誰と接したかが表示され、濃厚接触の可能性があるユーザーに警告通知を送る機能を有していることです。


新型コロナの感染拡大を防止するために、感染者の行動履歴と接触者について徹底的に調べるベトナムにおいては、このアプリが非常に重要視されており、感染防止に繋がると期待されています。なお、外国人についても入国の際に、このアプリをダウンロードし利用させることが検討されておりますので注意が必要です。

（常陽銀行ハノイ駐在員事務所 現地スタッフ グェン ティ トウイ）

【アプリ促進の看板】



（筆者撮影）


【タイ】～タイサッカーリーグが再開～

コロナウイルスの影響を受けて休止していた、タイ国内のサッカーのプロリーグ「タイリーグ」が9月12日に再開しました。タイのプロリーグは1996年にスタートし、東南アジアではトップクラスの歴史を誇るサッカーリーグとなっています。リーグのメインスポンサーはトヨタ自動車であり、日本にとっても馴染みの深いサッカーリーグとなっており、タイ代表監督を元日本代表西野朗監督が務めているほか、「タイリーグ」には多数の日本人監督・選手・スタッフが在籍しています。バンコク市内には複数のスタジアムがあり、試合観戦では、試合前に流れる国王賛歌や、屋台が並ぶスタジアムグルメなどタイならではの雰囲気を楽しむことができます。

なお、コロナウイルス対策により、現在は集客人数を制限して開催している状況です。

(足利銀行バンコク駐在員事務所 駐在員 塚本 修平)

【バンコク市内のスタジアム】



(筆者撮影)


【フィリピン】～SNS 大国フィリピン～

みなさんはコロナウイルスが感染拡大を続ける中、どのような方法で他人とのコミュニケーションを維持していますか。対面での接触を控えるために、仕事でもプライベートにおいてもオンラインを活用したコミュニケーションが増えているのではないのでしょうか。それはフィリピンでも同様で、職場では手元にタブレットを置いて面談している姿が目立ち、プライベートでも SNS のビデオ通話機能の利用率が更に加速している様に感じます。

フィリピンは SNS 利用率が世界一と言われており、普段から幅広い世代が SNS を利用しています。日本人から見れば電話で済ませられる内容であっても、わざわざビデオ通話に切り替えて会話するといった光景も珍しくありません。きっと南国特有の明るい文化と積極的なコミュニケーションを好む人柄がそうさせているのではないかと感じます。コロナ禍をきっかけにコミュニケーションの手段が多様化していることを実感しています

(BDOユニバンク マニラ駐在 鶴見 圭史)

【在宅勤務中のオンライン会議】



(筆者撮影)

アセアン各国株式市場・為替情報（9月）

アセアンの株式・為替市場の動向について（9月）

国	株式市場				為替市場			
	株価指数	月末株価	月間騰落額	月間騰落率	通貨単位	月末為替レート(円)	月間騰落額	月間騰落率
シンガポール	ST指数	2,466.62	▲65.89	▲2.60%	1シンガポールドル	77.26	▲0.60	▲0.77%
マレーシア	KLCI総合指数	1,504.82	▲20.39	▲1.34%	1リンギット	25.42	▲0.01	▲0.04%
タイ	SET指数	1,237.04	▲73.62	▲5.62%	1バーツ	3.34	▲0.07	▲2.10%
フィリピン	フィリピン総合指数	5,864.23	▲19.95	▲0.34%	1ペソ	2.18	▲0.01	▲0.28%
インドネシア	ジャカルタ総合指数	4,870.04	▲368.45	▲7.03%	100ルピア	0.71	▲0.02	▲2.44%
インド	SENSEX指数	38,067.93	▲560.36	▲1.45%	1ルピー	1.43	▲0.01	▲0.65%

出所: Bloomberg

【株式市場】

- ▶ **シンガポール**： 経済指標に回復感も、景気減速懸念が強く下落基調で推移

米国株が急落しアジア市場が全面安になるも、国内消費が回復基調にあることを好感し下げ幅を縮小。米中対立を背景にした投資環境の悪化が懸念され続落するも、輸出高がプラスで推移するなど反発した。しかし買い材料に乏しく下落基調で推移し、シンガポール ST 指数は、前月比▲2.60%で取引を終了した。
- ▶ **マレーシア**： 売り優勢も、世界国債インデックス残留決定を好感

8月末から下げ止まらず下落し、利益確定売りが目立つ展開。原油価格の下落とゴム手袋メーカー株の下落も重しとなり売り優勢が継続。下旬は、ワクチン治験の再開や銀行株主導で指数を牽引し反発。世界国債インデックス対象国残留が決定しマレーシア KLCI 指数は続伸し、前月比▲1.34%で取引終了。
- ▶ **タイ**： 観光再開への期待も、反政府デモと米国株安により売り優勢の展開

8月から売り優勢のマーケット展開を継続し、金融・エネルギー関連株が売られ下落。15日には、中国景況感の改善が好感され反発。また長期観光ビザの発給が承認され観光業への期待が買い材料となり上昇した。下旬は、反政府デモと米国株安が嫌気され反落し、タイ SET 指数は前月比▲5.62%で取引を終了した。
- ▶ **フィリピン**： 利下げ期待から投資家心理改善も、感染拡大を嫌気

首都圏での感染拡大と米国株安を受け下落基調で推移。低インフレを背景に利下げ期待が高まり投資家心理が改善し反発。しかし、感染拡大の収束が見通せないことや世界景気の鈍化懸念からフィリピン総合指数は下落し、前月比▲0.34%で取引を終了。
- ▶ **インドネシア**： 依然続く感染拡大が指数の重荷となる

金融株主導で上昇したが、米国株の急落を受け指数は大幅下落した。感染者増加を受け大規模社会制限の再導入を嫌気し続落も、規制内容が緩い内容であることが好感され反発した。その後、輸出入額の下振れや感染拡大が嫌気され売り優勢で推移し、ジャカルタ総合株価指数は前月比▲7.03%で取引を終了。
- ▶ **インド**： IT株が好調も、感染拡大と印中対立が重荷に

景気刺激策や中国景況感改善を好感し上昇も、印中対立と米株安が重荷となり大幅反落。その後印 IT 株が急伸し、指数は大幅反発し 39,000pt をつけた。しかし、国内の感染拡大と欧州の再ロックダウンが懸念され急落。月末にかけインド SENSEX 指数は回復し前月比▲1.45%で取引を終了した。

【常陽銀行シンガポール駐在員事務所 駐在員 関 貴弘】

アセアン各国ニューストピックス

◎経済

- シンガポール
 - ・9月輸出、3ヶ月連続プラス 中国・欧州の都市封鎖解除などで (9/18)
 - ・総人口 569 万人、17 年ぶり減少 外国人が流出、経済への懸念も (9/25)
 - ・7~9 月の中小企業景況感、過去最低を更新 (9/30)
- マレーシア
 - ・シンガポール往来の早期再開を要請、ジョホール州 (9/9)
 - ・10 月から給与補助金第 2 弾 景気刺激策に 100 億リンギ追加 (9/25)
 - ・今年 GDP は▲4.9%、世界銀行が予測下方修正 (9/30)
- タイ
 - ・地場大手、炭素中立を指標に SDGs 達成へ 10 年で 4 兆円投資 (9/2)
 - ・8 月輸出額、8%減の 2.1 兆円 4 ヶ月連続前年割れも回復基調 (9/24)
 - ・政府、10~12 月に 5700 億円規模の経済対策 (9/28)
- インドネシア
 - ・8 月の貿易黒字 23.3 億米ドル 輸出入とも低調、内需回復まだか (9/16)
 - ・新型コロナ対策、執行率 37% 政府支援に遅れ、実業界が不安視 (9/24)
 - ・来年度予算が国会成立、5%成長目標 (9/30)
- フィリピン
 - ・外資規制リストの改定、コロナ対応で遅れ (9/18)
 - ・フィリピン経済の回復は来年 4~6 月期以降 (9/30)
- ベトナム
 - ・11 業種で外資の投資禁止、投資法の細則案 (9/10)
 - ・1~9 月の FDI、20%減の 212 億ドル (9/29)
 - ・3Q の GDP 成長率、2.62%で前期から加速 (6/30)

◎その他

- シンガポール
 - ・日本の自治体間で連携企画 飲食・小売店支援、輸出振興も (9/16)
 - ・スマート都市ランク、2 年連続で世界首位 (9/21)
 - ・職場の人数制限緩和、企業は段階的に (9/28)
- マレーシア
 - ・ジェットロとクラブ、日本食プロモ第 2 弾開始 (9/18)
 - ・駐在員らの入国に入管許可必須、21 日から (9/22)
- タイ
 - ・環境省、来年にプラごみ輸入の全面禁止計画 (9/8)
 - ・日本発の外国人専用便が増加 10 月は週 3 便、予約状況に余裕も (9/22)
 - ・非常事態宣言、6 回目の延長 10 月から長期滞在旅行者受け入れ (9/29)
- インドネシア
 - ・首都の衛生規律違反、2 日で 9734 件 (9/17)
 - ・密造酒で邦人死亡例も (9/28)
- フィリピン
 - ・コロナ感染 30 万人超え 収束めど立たず、検査拡大も要因 (9/28)
 - ・外出制限、10 月も緩和継続 マニラ首都圏、経済再開探る (9/30)
- ベトナム
 - ・政府、6 ヶ国・地域との国際線再開を承認 (9/17)
 - ・外国人労働者、約 2 万人が再入国待ち (9/28)

(出所：各種新聞、雑誌)

アセアン・インド休日情報

2020年10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2 ID	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13 TH	14	15 CD	16	17
18	19	20	21	22	23 TH	24
25 ID	26	27	28	29 MY MM	30 CD IN MM ID	31 MM CD

2020年11月

日	月	火	水	木	金	土
1 CD PH MM	2 CD PH MM	3 JP	4	5	6	7
8	9 CD	10	11	12	13	14 SG MY
15	16 ID	17	18	19	20	21
22	23 JP	24	25	26	27 MM	28 MM
29 MM	30 ID PH MM					

2020年12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5 TH
6	7 TH	8 PH	9 MM	10 TH	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24 PH	25 IN ID MM MY SG PH	26
27	28	29	30 PH	31 TH PH MM		

※ナショナルホリデーのみ掲載
※祝祭日名省略

出典：ジェトロ各国情報等

- JP 日本
- MY マレーシア
- TH タイ
- SG シンガポール
- PH フィリピン
- VN ベトナム
- IN インドネシア
- MM ミャンマー
- ID インド
- CD カンボジア

めぶきFGアジアネットワーク

お客様の海外進出をサポートするため、様々な機関や外国銀行と業務提携を結び、支援体制の強化を進めています。

◎業務提携先一覧

提携先	常陽	足利	主な業務内容
中国銀行（中国）	●	●	中国国内情報の提供および各種金融サービスの提供
交通銀行（中国）	●		
中国信託商業銀行（台湾）	●		台湾情報の提供および各種金融サービスの提供
カシコン銀行（タイ）	●	●	タイ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バンコック銀行（タイ）	●		
バンクネガラインドネシア （インドネシア）	●		インドネシア国内情報の提供および各種金融サービスの提供
CIMB ニアガ銀行 （インドネシア）		●	
ヴィエティンバンク （ベトナム）	●		ベトナム国内情報の提供および各種金融サービスの提供
ベトコム銀行（ベトナム）	●	●	
ベトナム外国投資庁 （ベトナム）	●		ベトナム関連セミナーの開催協力 ベトナム進出に関する各種支援、投資関連情報の提供
BDO ユニバンク（フィリピン）	●		フィリピン国内情報の提供および各種金融サービスの提供
メトロポリタン銀行 （フィリピン）		●	
インドステイト銀行 （インド）	●	●	インド国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バナメックス（メキシコ）	●	●	メキシコ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
アグアスカリエンテス州政府ほか（メキシコ）	●	●	メキシコに関する現地市場調査 投資情報の提供
日本貿易振興機構（JETRO）	●	●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力機構（JICA）	●	●	途上国での海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力銀行（JBIC）	●		海外展開支援融資の提供
日本貿易保険（NEXI）	●	●	輸出取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
中小企業基盤整備機構		●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供
損保ジャパン日本興亜	●	●	リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供
三井住友海上火災保険	●	●	各種損害保険の提供
セコム	●		海外での安全システム・防犯危機商品の提供
総合警備保障	●		海外セキュリティサービスの提供

◎めぶきFG海外駐在員事務所

常陽銀行シンガポール駐在員事務所	63 Market Street, #11-03 Bank of Singapore Centre Singapore 048942 TEL:+65-6225-6543
常陽銀行ハノイ駐在員事務所	5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam TEL:+84-24-3218-1668
常陽銀行上海駐在員事務所	上海市延安西路 2201 号 上海国際貿易中心 1901 室 TEL:+86-21-6209-0258
常陽銀行ニューヨーク駐在員事務所	712 Fifth Avenue, 8th Floor, New York, NY 10019 TEL:+1-347-686-8420
足利銀行香港駐在員事務所	Suite 1601, 16th Floor, Tower 2, The Gateway, Harbour City, Kowloon, Hong Kong TEL:+852-2251-9475
足利銀行バンコク駐在員事務所	689, Bhiraj Tower at Emquartier, 27th Floor, Room No. 2714, Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana, Bangkok, Thailand 10110 TEL:+66-2-261-2852

